

研究活動

各学芸員の研究活動のうち、その成果が発表されたもの(論文・口頭発表)を記載する。ただし、一般の新聞・雑誌などへの寄稿や、図録等の作品解説などは除いている。

◆小針由紀隆

- ・「ローマ近郊を描く」『イタリアの光景 1780-1850展』図録(静岡県立美術館/平成16年6月)
- ・Painting the landscape of Rome and its environs, exh. cat. of Plein-air Painting in Europe 1780-1850, September 2004 - January 2005, Art Gallery of New South Wales, Sydney & National Gallery of Victoria, Melbourne

◆飯田 真

- ・コラム「池大雅の魅力ー《龍山勝会図》鑑賞のポイント」『若沖と京の画家たち』収蔵品図録(静岡県立美術館/平成17年2月)

◆山下善也

- ・「二条城障壁図」「不遇な実力派たち 山雪・山楽と京狩野」「発見! 大臣旧蔵の狩野派屏風」「焼けてしまった狩野派作品 名古屋城」「型」の継承 桐鳳凰図」「狩野派の顔」「決定版・狩野派系図」『狩野派決定版』<別冊太陽 日本のこころ>(平凡社/平成16年10月)
- ・「描かれた富士ー平安時代から桃山時代まで」『美JAPAN・富士山』(四季出版/平成17年3月)
- ・「模写された狩野探幽の絵画ー当館蔵探幽画に関連する東京芸大蔵模本の紹介と展開」『静岡県立美術館紀要』第20号(平成17年3月)
- ・「石田幽汀筆《群鶴図屏風》にみられるツルの種類と制作年」『静岡県立美術館紀要』第20号(平成17年3月)
- ・コラム「鑑賞のツボー蘆雪のコントラスト」『若沖と京の画家たち』収蔵品図録(静岡県立美術館/平成17年2月)

◆南 美幸

- ・「オーギュスト・ロダン作《地獄の門》」「ダンテ『神曲』の旅」展図録(町田市立国際版画美術館/平成16年4月)
- ・「ロダンのデッサンの普及に関する一考察ーオクターヴ・ミルボー著『拷問の庭』挿絵制作の意図」『静岡県立美術館紀要』第20号(平成17年3月)
- ・「彫刻を触って鑑賞するプログラム」をめぐって」

『アマリリス』No74(静岡県立美術館ニュース/平成16年7月)

◆堀切正人

- ・「彫刻ー不在の風景」『<彫刻>と<工芸>ー近代日本の技と美』展図録(静岡県立美術館/平成16年8月)
- ・研究ノート「黒川翠山の写真ーピクトリアリズムから記録写真へー」『アマリリス』No73(静岡県立美術館ニュース/平成16年4月)

◆新田建史

- ・「ピラネージ作《サンティ・ジョヴァンニ・エ・パオロ聖堂のクラウディウス神殿遺構》第2版の制作年代および改版の意図について」『アマリリス』No76(静岡県立美術館ニュース/平成17年1月)

◆川谷承子

- ・「ジョアン・ミッチェルの《湖》の色彩、構図のモダニズム的性格」『アマリリス』No77(静岡県立美術館ニュース/平成17年4月)

◆村上 敬

- ・「<彫刻>と<工芸>ー近代日本の技と美 企画ノート」『<彫刻>と<工芸>ー近代日本の技と美』展図録(静岡県立美術館/平成16年8月)

◆泰井 良

- ・「香月泰男の「余白」について」『没後30年 香月泰男展』図録(朝日新聞社事業本部/平成16年11月)
- ・「和田英作《富士》について」『静岡県立美術館紀要』第20号(平成17年3月)
- ・「鹿子木孟郎《紀州勝浦》についてー油彩画制作に対する姿勢ー」『アマリリス』No75(静岡県立美術館ニュース/平成16年10月)
- ・口頭発表「ロダンとその時代ー同時代彫刻と日本という視点を中心にー」(美術史学会西支部/平成16年11月)

◆森 充代

- ・「近藤浩一路の水墨画」『生誕120周年記念 近藤浩一路展』図録(フェルケール博物館/平成16年10月)
- ・「若沖と樹目画ー《樹花鳥獸図屏風》がある愉快」『若沖と京の画家たち』収蔵品図録(静岡県立美術館/平成17年2月)